

# ニッポン 臨終図巻

ドクター和の



僕が医学生だった40年以上前のこと。キャンパスの近くがドラマ『太陽にほえろ!』のロケ現場であったのを覚えていま

す。ベテラン俳優に囲まれて、見たことのない若者が一人。スリムで足が長くて、なんて笑顔が爽やかで優しそうなんだろう……ラガー刑事役の新人さんだと級友が教えてくれました。僕のアパートにはテレビがなかったので、知らなかったのです。しかし、ご本人いわく、スリムだったのはデビュー当時の半年程度。もともと大食漢だった

## 284 俳優 渡辺徹

長尾和宏(ながお・かずひろ) 医学博士。東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。1995年、兵庫県尼崎市で長尾クリニックを開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る」総合診療を目指す。この連載が『平成臨終図巻』として単行本化され、好評発売中。関西国際大学客員教授。

その翌日に腹痛などの症状があったことから都内の病院を受診。細菌性胃腸炎と診断され入院していました。「敗血症」は、細菌やウイルス感染により全身に炎症が起きた状態をいいます。進行すると重度の多臓器不全となり死に至ります。がんや糖尿病、高齢などで免疫力が低下している人がそのリスクが高いです。

渡辺さんは、30歳のときに糖尿病に。51歳のときに心筋梗塞と診断。52歳のときに急性膵(すい)炎。55歳から人工透析を開始。そして昨年の春には、大動脈弁狭窄(きょうやく)症の手術を受けて一時休業されていましたが、見事に復帰。この10月には舞台に出演されていました。闘病の経緯を知るたび、よくこの状態でお仕事を続けられていたなと驚きます。僕

# 糧となった家族の幸福時間

に僕も共感を覚えました。その後、俳優として一躍脚光を浴び、歌手としても『約束』が大ヒット。またたぐまにスターとなった渡辺徹さんが、11月28日に都内の病院で亡くなりました。享年61。死因は、敗血症との発表です。

渡辺さんは11月19日に、秋田県で開かれた医療フォーラムに参加。しかし当日の朝に発熱し、現地に行っ

が同じ状態であれば、とっくに投げ出してははず。体は悲鳴を上げていたはずなのに、テレビで見る渡辺さんはいつも変わらぬ笑顔で、楽しいトークでした。

インタビュ어의たび、「今の僕があるのは妻のおかげ」と目尻を下けていたのが印象的でした。もしも渡辺さんが独身だったなら、ここまで生きられなかったのではないでしょう。妻の郁恵さんがいつも家庭を



明るく照らして、家族そろって笑顔で過ごした時間は、他の夫婦よりも何倍、いや何十倍も長いものだったかもしれません。人生とは、美味しいものを食べることを愛する人と笑顔で言葉を交わすこと。これに勝る幸福などないはず。